



One for The Future

～ 夢と希望あふれる東京の創出 ～

ANNUAL REPORT 2025



Junior Chamber International Tokyo
公益社団法人東京青年会議所

発行 / 公益社団法人東京青年会議所

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3丁目1 オームビル新館8階





3月例会 YouthChamberの紹介 Tokyo Innovation Base 教育政策委員会



生成AI活用セミナー Tokyo Innovation Base 経済政策委員会



デフリンピック決勝戦 9月例会登壇者を応援 Jヴィレッジスタジアム 共生政策委員会



東京青年会議所とは

私たち公益社団法人東京青年会議所（略称「東京JC」、以下本文中では、「東京青年会議所」と呼称）は、1949年（昭和24年）、戦争の傷跡が街にも人々の心にも深く残る中、「新日本の再建は青年の仕事である」という志を同じにする青年達によって築き上げられました。以来、東京青年会議所は「明るい豊かな社会の実現」を理想に掲げ、様々な活動・運動を行ってきました。また、東京青年会議所は、人種、国籍、性別、職業および宗教の別なく自由な個々の意志により入会したメンバーで構成されています。

日本の青年会議所の活動の基本



会員相互の啓発と交流をはかり、公共心を養いながら、地域との協働により社会の発展に貢献するために活動し、社会的課題に積極的に取り組んでいます。

青年会議所におけるさまざまな実践トレーニングを経験した活動分野は幅広く、40歳をむかえ卒業した卒業生も含め、地域のリーダーとして活躍するばかりではなく、政財界へも多くの人材を輩出しています。

東京青年会議所のSNSはこちらから



Facebook



Instagram



X



YouTube

One for The Future ～夢と希望あふれる東京の創出～

「明るい豊かな社会の実現」

東京青年会議所は、1949年、戦後の混乱の中「新日本の再建は我々青年の仕事である」という信念のもと、日本で最初に創設された青年会議所です。創立以来、時代の変化に柔軟に対応しながら、常に明確なビジョンを掲げ、社会の課題に対して行動を起こしてまいりました。私たちは、産・官・学・民のネットワークを最大限に活用し、「新社会システムの創造を通じた個人の意識改革」を機軸として、未来を見据えた運動を展開しています。

本年度は、誰かが動くのを待つのではなく、私たち自らが先頭に立ち、伝統を守りながら飽くなき挑戦心をもって、新たな未来の創出に取り組みました。この世界には、無限の可能性が広がっています。異なる文化や価値観と交わり、共に成長できる機会が広がっています。広大な世界を舞台に、青年としての情熱を胸に、私たちは人々に「共感される運動」を創り続けてまいります。

意志あるところに道は開ける。

自分たちが変えたと誇れる。

そんなワクワク・ドキドキする未来をこれからも創ってまいりましょう。

本年度の全てのJCの運動に関わっていただきました関係各所の皆様に、心より感謝申し上げますと共に、皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。今後とも、明るい豊かな社会の実現を目指す青年たちへの変わらぬご支援とご高配を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



石川 暁棋





未来へつなぐビジョンのアップデートと共感が生み出す運動のうねりを

副理事長 清水 紘武

「持続可能な幸福中心社会」という核を維持しつつ、「やってみようを育む」という戦略コンセプトを軸とした新たな中長期ビジョンを策定しました。東京青年会議所が社会の中で価値ある存在であるために、市民の共感と積極的な参画のもとで大きなうねりとなる運動を生みださなければなりません。今後もこのビジョンのもとで、理想の未来に向けた行動変容を促す運動を構築してまいります。



千載一遇の年を成長の機会に

副理事長 角 俊太郎

2025年は、44年ぶりにJCI会頭、15年ぶりに日本青年会議所会頭が東京青年会議所から輩出される歴史的な年となりました。この好機を活かし、メンバーの拡大及び拡充、姉妹LOM交流を中心とした海外との接点強化を推進。国境を越えた事業構築と各種大会におけるアワード申請にも取り組み、東京青年会議所のプレゼンス向上に大きく寄与いたしました。



東京から生まれた運動を世界へつなぐ、政策推進グループの歩み

副理事長 外川 隆司

政策推進グループでは、共生・福祉・経済の3政策を中心に理事長所信の「共感される運動」「世界を変えることができる運動」を力強く推進しました。市民1500名超を動員した事業や他団体への事業移管に成功した事業、事業推進動画の幅広い拡散、またチュニジア開催のJCI世界会議では7月例会が「最優秀LOM個人開発プログラム」でグランプリを受賞。東京発の運動を世界へ届けました。



共感からファンを創るブランディング

副理事長 小林 達也

今年度は「東京青年会議所のファンを創るブランディング」をテーマに、市民の皆様へ共感していただくための運動・活動を推進しました。若者を対象とした教育政策室の取り組みや、公開討論会を通じた情報リテラシー啓発、第40回わんぱく相撲全国大会の開催等を通じて市民の皆様と直接つながる機会が数多く生まれました。今後もより多くの方に愛される東京JCを目指して歩みを進めてまいります。

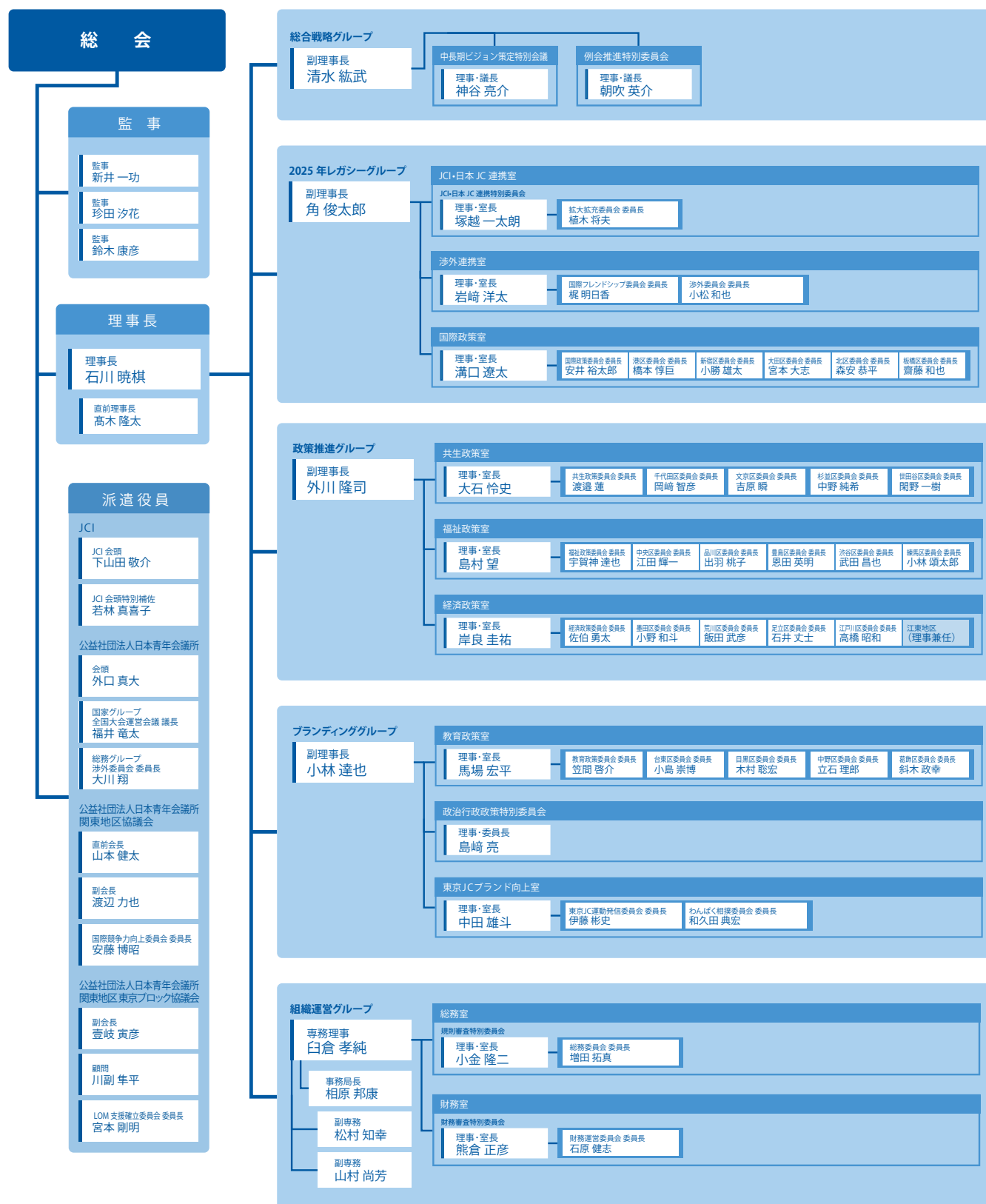


JC史上初のチャレンジと理想の実現を目指した一年を振り返って

専務理事 臼倉 孝純

本年度は世界会頭と日本会頭を同LOMから同時に輩出するというJC史上に前例の無いチャレンジの年でした。その中でも運動を止めることなく、石川理事長が掲げた「One for The Future ～夢と希望あふれる東京の創出～」という理想の実現を目指し、専務理事として理想と現実の間に橋渡しをする運営を心がけた一年でした。全メンバーが一丸となり、東京青年会議所のプレゼンスを日本中に、そして世界中に示すことができた素晴らしい一年であったと感じています。一年間、本当にありがとうございました。

組織図



1月例会 One for The Future ～夢と希望あふれる東京の創出～

2025年1月14日（火）東京ドームホテル「天空」 主管：例会推進特別委員会

1年間の運動方針の発表の場として、東京ドームホテルにて開催された1月例会。今年もたくさんのご来賓の方よりご祝辞を賜りました。第1部では、近年の東京青年会議所による共感されてきた運動構築などを動画としてまとめ、「共感される運動構築」の理解を深めました。そして、プレジデンシャルリースの伝達式、石川暁棋君による理事長所信が行われました。第2部においては、理事長挨拶や担当理事による2025年度委員長の紹介が行われました。また、関東地区大会や東京ブロック大会のPRが行われ、活気あふれる賀詞交歓会となりました。



2月例会 東京子育て助け隊 ～小さな親切、大きな感謝～

2025年2月11日（火）サンシャインシティワールドインポートマートビル展示ホールA-2 主管：福祉政策委員会

二月例会をサンシャインシティワールドインポートマートビルにて開催し、講師による子育ての体験談を通じて、子育てにおける共通の悩みや孤独感に共感が広がる機会となりました。周囲のささやかなアクションが大きな支えになることも伝えられ、参加者に温かい気づきを提供しました。行政・社協・企業との連携により東京JCの存在感を示すことができ、今後の協働への足がかりにもなりました。また、来場動機として多く挙げられたのが「子どもが楽しめる内容」であり、子育て世代の参加促進には子ども向けコンテンツの充実が重要であると再認識させられました。



例会報告

3月例会 Youth Chamber ～新しい変革の起点～

2025年3月19日（水）Tokyo Innovation Base 主管:教育政策委員会



推進運動 Youth Chamber プロジェクトの発足イベントとして3月例会が開催されました。当日は、松井健斗氏、細井龍氏の講演で事業を起こすことの大切さ、外部の組織と協力しながら課題を解決していくことの大切さを伝えていただきました。

また目玉企画「JCの虎」では国際政策室の理事・委員長とYCメンバー代表の二組の挑戦者が登壇。プレゼン中のバク宙など予想外の展開が起こりながらも、無事盛況に終えることができました。

国際政策委員会の安井委員長とYCメンバー塩澤君が直前の直前まで舞台裏で練習を続けていたことが運営の間で話題となりましたが、その成果が十分に発揮できた素晴らしいプレゼンの機会になりました。



4月例会 BE UNITED! 持続可能な支援とSDGsビジネス ～海外課題は自分ごと～

2025年4月18日（金）新宿区立牛込筆筒区民ホール 主管:国際政策委員会



海外課題に対して関心を持ち、理解を深め、課題解決に向けた具体的行動を起こすきっかけとなることを目的に4月例会を開催しました。第1部はアーティストの長坂氏がガーナでの持続可能な支援とビジネスをテーマに講演。第2部では海外ビジネスの実践者である太陽油化の石田氏、DG TAKANOの高野氏、e-Educationの坂井氏ら3名がSDGsビジネスの可能性を議論。第3部で主管委員会の推進運動「Unity for Action」を通じたフィリピン教育支援プロジェクトが紹介され、最後は谷村奈南氏が歌で一体感を演出。国際課題を自分ごととする意識を育む内容でした。詳細はYouTubeの配信内容をご覧ください。



例会報告

5月例会 AI for The Future ～希望がつなぐ未来創出プロジェクト～

2025年5月16日（金）東京ポートシティ竹芝ポートホール 主管:経済政策委員会



本例会は、中小企業を対象に生成AIの最新動向や活用事例を紹介し、活用意欲の向上を目的として開催しました。当日は日本マイクロソフト株式会社およびグーグル・クラウド・ジャパン合同会社から専門家を招き、生成AIの必要性や具体的な導入効果についてご講演いただきました。また、業務用アプリケーションの開発デモンストレーションも実施し、参加者に実践的なイメージを提供しました。さらに、実際に生成AIを導入した中小企業2社による経験談も発表され、現場での課題や導入プロセスが共有されました。



6月例会 参議院議員選挙に向けた政党代表者による公開討論会

2025年6月20日（金）星陵会館ホール、YouTube 配信 主管:政治行政政策特別委員会



参議院議員選挙に向け、各政党から代表者をお呼びして、6月例会として公開討論会を実施し、その様子をYouTubeで配信いたしました。情報リテラシーの向上を図るために視聴者がフェイク動画などの情報に惑わされず本質を見極められるよう働きかけました。各政党を代表して討論会をすることを通して投票の手助けになるような内容です。



例会報告

7月例会 ファミリオンハーモニープラザ ～パパの笑顔で、家族も笑顔に♪～

2025年7月27日（日）浄土真宗本願寺派 東京教区教務所 築地本願寺 第2伝道会館
主管：中央区委員会 共催：NPO 法人ファザーリング・ジャパン



2025年7月27日、中央区委員会主管のもと、「ファミリオンハーモニープラザ ～パパの笑顔で、家族も笑顔に♪～」を築地本願寺にて開催しました。本事業は、男性の育児参加を推進し、夫婦が共に子育てを担える社会づくりを目的とした体験型フェスティバルです。ステージでは助産師 HISAKO 氏 & MARK 氏ご夫妻、ファザーリング・ジャパン徳倉康之氏、内閣府副大臣辻清人氏、芸人おばたのお兄さん氏らが登壇し、笑いと学びを届けました。会場内では子育て応援ブースやワークショップ、屋外ではプールやシャボン玉、和太鼓などが行われ、笑顔溢れる温かな空気に包まれていました。親子で楽しみながら育児への理解とはじめの一歩を後押しする、社会的意義のある一日となりました。



8月例会 第40回わんぱく相撲全国大会 ～夢をこの手に、わんぱくピース！～

2025年8月10日（日）ひがしんアリーナ（墨田区総合体育館） 主管：わんぱく相撲委員会



8月10日に8月例会「第40回わんぱく相撲全国大会」が、ひがしんアリーナ（墨田区総合体育館）にて開催されました。本大会のスローガン「夢をこの手に、わんぱくピース！」のもと、子供たちに将来の夢を書いてもらう夢の手形企画や、取組後に感想を語ってもらい動画にする企画を行いました。本大会を通じて、出場選手のみならず保護者、メンバーが夢を再考する機会となりました。また多数の協賛企業と関係団体の方々から共感と支援を受け、円滑に大会を実施することができました。



例会報告

9月例会 超考えて！ 聴感じる！ ～配慮し存在を認め合い、そして時に支え合うことで、孤立せずにその人らしい生活を送ることができるような社会を構築していくことを目指して～

2025年9月13日（土）立正大学品川キャンパス 主管:共生政策委員会



本例会では「心のバリアフリー」や「障害の社会モデル」をテーマに、障害当事者による体験談や社会生活における課題を語るトークセッションを実施。心理学者や障害当事者の体験談を交えたディスカッションや、企業の心のバリアフリー好事例紹介では、共生社会に必要な考え方や取り組みを発表。デフリンピック代表選手も招き、「誰もが挑戦できる社会」をテーマにパネルディスカッションを行い、障害の有無を超えた理解と共感を深める場を提供しました。



10月例会 Social Re:Innovation for TOKYO 未来を創る挑戦を、ここから。～やってみようを育む。～

2025年10月21日（火）東京大学 安田講堂 主管:中長期ビジョン策定特別会議



アップデートした“東京JC新中長期ビジョン”を東京JCメンバーへ周知することや社会全体に浸透させること、そして、新しく掲げた「やってみようを育む」という戦略コンセプトを理解してもらうために例会を開催いたしました。

現状把握・問題提起から始まり、2020中長期ビジョンの振り返り、新中長期ビジョン発表、そして「まずはやってみること」の大切さをご講演いただき、最後に理事長とコンセプトについてディスカッションを行いました。



例会報告

11月例会 踏み出す一歩と掴む未来

2025年11月19日（水）ベルサール神田 主管:JCI・日本JC連携室



本例会には249名の東京JCメンバーが参加し、次年度活動への理解促進と主体的参画を目的に4つの企画を実施しました。第1部ではグローバルピース国連大使が活動報告を行い、JCI JAPANの国際青少年育成事業の意義を共有。第2部では、日本青年会議所およびJCIへ出向した4名が本音のリアルトークを展開し、参加者の出向への心理的ハードルを下げることができました。第3部では次年度会務系委員会紹介動画を放映し、活動内容を周知。第4部のスピーチコンテストでは次年度地区委員会が1分間で事業方針と魅力を発表し、理事とキャビネットが最優秀委員会を選出しました。例会全体を通じて、東京JCメンバーが出向や次年度活動を自分ごととして捉える契機となりました。



12月例会 One for The Future～夢と希望あふれる東京の創出～

2025年12月6日（土） 主管:総務委員会



第1部「2025年度振り返り」では、各種の活動報告がなされ、外口日本JC会頭、下山田世界会頭よりご挨拶を頂きました。また、際立った活躍をしたメンバーを労うとともに、2026年度以降の受賞を目指す他のメンバーの意欲向上を図るべく、アワードの発表を行いました。

第2部「パーティ」では、豪華ゲストを招いたライブパフォーマンスを実施し、1年間走り抜けたメンバーを労うとともに、卒業生の卒業を祝う特別な瞬間を演出しました。

第3部「卒業式」では、卒業生による出し物のほか、現役メンバーからの送辞、卒業生からの答辞を行い、卒業生から現役メンバーへバトンを繋いでもらうことができました。卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。



中長期ビジョンとは

中長期ビジョンとは、これからの社会を見据えて、東京青年会議所がどのような社会をめざし、どのような役割を果たしていくのかを示す“**未来へのメッセージ**”です。

2020年度には「持続可能な幸福中心社会」を掲げる中長期ビジョンが策定され、そのもとで東京青年会議所は運動を展開してきました。

しかしこの数年間で、社会を取り巻く環境は大きく変化し、不確実性が一段と増したことを踏まえ、東京青年会議所では2025年に、新たに「2025中長期ビジョン」を策定し、これからの運動の方向性を整理しました。

さらに本ビジョンでは、「やってみようを育む」をキーフレーズに、メンバー一人ひとりの行動変容を促し、それを軸とした運動を構築していくことを重視しています。

この「中長期ビジョン」を東京青年会議所の共通の土台とすることで、多くのメンバーにリーダーとして成長する機会となる東京青年会議所の強みである単年度を超えて、一貫性と継続性をもった運動を展開していくことをめざしています。



詳しくは右にあるQRコードから
「JCI TOKYO 2025 vision」をご覧ください。



室・委員会報告 総合戦略グループ

副理事長 清水 紘武

中長期ビジョン策定特別会議

理事・議長
神谷 亮介

挑戦が、次の時代をつくる。

2020年に策定された東京JCの中長期ビジョンの検証、次の5年に向けた新たな中長期ビジョンの策定を行う特別会議です。新たに策定した2025中長期ビジョンのコンセプトである「やってみようを育む」を東京JC内外に浸透すべく、10月例会の企画運営やメンバー向け勉強会などビジョンを東京JCに実装するための施策を推進しました。



例会推進特別委員会

理事
朝吹 英介

規律が生む信頼、設えが生む感動

例会推進特別委員会は、年間活動の起点となる1月例会の主管として企画及び運営を行い、また例会議案と推進議案の審査・予備審査も実施しました。

本年度の新たな取り組みとして、全メンバーの出欠管理を通じて規律意識と責任感の向上を図り、当日は計画に基づく時間厳守の進捗を徹底し、東京青年会議所として誇れる設えと高い品質の実現に努めました。



私たちは「やってみようを育む」ことを起点に

JCI・日本JC連携室

理事・室長
塚越 一太郎

千載一遇の年を成長の機会に

JCIおよび日本青年会議所との連携を強化し、国内外での活動を通じて多くのメンバーに学びと経験を提供しました。会員拡大拡充では直近5年間の数字を見ても着実な成果を上げ、4回にわたる勉強会を実施するなど、次代を担うリーダー育成を推進しました。これらの取り組みを通じ、夢と希望あふれる東京の実現に向けて、組織の基盤強化を図りました。



拡大拡充委員会

委員長
植木 将夫

つながりから拡がりへ

拡大拡充委員会は「つながりから拡がりへ」をテーマに活動を展開しました。新入会員の発掘やメンバー同士の交流強化に注力し、多様な価値観を持つ人材が活躍できる環境づくりを推進。さらにJC内での勉強会を通して私業にも通じる理念に理解を深めました。



JCI・日本JC連携特別委員会

理事
塚越 一太郎日本から世界へ、
つなぐ情熱・広がる可能性

JCI・日本JC連携特別委員会は、日本青年会議所と国際青年会議所をつなぐ架け橋として国内外で活動を推進。日本青年会議所の運動を広く周知するとともに、京都会議・サマコン・全国大会においては、「東京ナイト」を企画・運営いたしました。また、世界会頭への帯同を通じて国際舞台での交流を深め、メンバー活動認知向上に努めてまいりました。



室・委員会報告

2025年レガシーグループ

副理事長 角 俊太郎

渉外連携室

理事・室長
岩崎 洋太

東京JCのプレゼンスを守り、育てる。

2025年は、世界で初めてのJCI会頭と日本会頭の同時輩出という稀有な年だったため、渉外連携室としても例年以上に多くの公務対応、各国・日本各地のLOMとの強い絆を深める活動に邁進し、連携を広げて参りました。また、例年以上にアワードの獲得に力を入れ、各大会にて成果を残しました。東京JCのプレゼンスを高め、今後に繋がる活動ができた1年となりました。



国際フレンドシップ委員会

委員長
梶 明日香

Let's have fun! Get Connected!

「Let's have fun! Get Connected!」をテーマに、文化や国境を越えた友情と学びを通じて、グローバルに活躍するリーダーを育み、東京JCの国際的プレゼンスを高めることを目標に活動しました。



渉外委員会

委員長
小松 和也

東京JCのプレゼンスを高める

2025年、渉外委員会はキャビネットの公務が円滑に進むよう積極的にサポートし、国内外の多様な公務に帯同しました。東京JCの信頼と存在感を高め、他LOMとの絆を深めた一年となりました。



国際政策室

理事・室長
溝口 遼太

言伝身教

当室は、6つの委員会で構成され、人的交流を通じて質の高い事業を創出し、多くの学びと気づきを得られるよう運営してきました。室会議では、議案に対して意見・質問を活発に交わり、各委員会の良い取り組みを共有し合い、懇親会では委員会の枠を超えた交流を促進しました。各事業の際には他の委員会からも積極的に参画し、室全体として支援し運動を展開しました。



港区委員会

委員長
橋本 惇巨

未来につなぐ

今年度、港区委員会ではアントレプレナーシップを学ぶキッカケを高校生たちに作るため、「ユニコーンプロジェクト」という現役高校生が青年実業家と実際に話す機会を提供する運動を展開して参りました。その運動は好評を博し、今年は港区だけに留まらず大田区でも開催。次年度は東京以外の地域でも実施される予定です。その他にもわんぱく相撲、キッズロゲイニング、地元の団体との連携など、地域を良くするための事業や運動をたくさん行いました。



新宿区委員会

委員長
小勝 雄太

人事を尽くし、足跡を刻め

新宿区委員会は、スローガン「人事を尽くし、足跡を刻め」のもと、関係諸団体と協働した共感を呼ぶ地域事業の創出、青年の成長機会を生む会員拡大と開発、そして地域・組織の連携強化を通じて、志を同じくする仲間と共に新宿の未来を創造していくことを目標に活動しました。



北区委員会

委員長
森安 恭平

共鳴 心揺さぶる仲間と共に…

2025年、北区委員会は、「共感」を超えて、より深いレベルで影響を与え合い響き合う「共鳴」を起こしたい、そんな想いで活動しました。笑い合いながら真剣に取り組み、困った時には相談し合い助け合える、そんなメンバー達で活動しています。入会後の拡充イベントも定期的で開催して、新入会員が楽しくアクティブに活動できるように全力でフォローします。



室・委員会報告

2025年レガシーグループ

副理事長 角 俊太郎

国際政策委員会

委員長
安井 裕太郎

「Be United!」～持続可能な支援とSDGsビジネス～海外課題は自分ごと～

国際社会と一致団結し、持続可能な未来への第一歩を踏み出すためのきっかけ作りに挑戦。知らない現状を「知る」ことで海外課題を自分ごととして捉え、SDGsビジネスの可能性にも気付いてもらう。更に海外支援基金を設立し、マニラのスモーキーマウンテン地区で教育・自立支援を実施。単発で終わらず、継続的な支援の仕組みを構築しました。



板橋区委員会

委員長
齋藤 和也

ダイバーシティインクルージョン板橋

板橋区委員会は、「いたばし♥愛」を持った多様なメンバーが集まっています。地区事業では、「地域と世界をつなぐ架け橋」を理念に、アフリカ×板橋ネットワークと題し、地域の活性化と国際交流を推進しました。企業・行政・学生が共同し、多様性と相互理解を深め、持続可能で開かれたまちづくりを目指しました。わんぱく相撲では、333名が参加をし、学校別対抗戦を復活させ、盛況となりました。



大田区委員会

委員長
宮本 大志

願われる存在「東京青年会議所」

2025年度の「蒲田夜市」は延べ10,830名が来場し、ナイトタイムエコノミーの可能性を示しました。夜の経済活動の功罪を検証した本事業を継承し、2026年度は「Global&Music」をテーマに開催。スローガン「Dollar to Yen」のもと、世界と大田をつなぐ夜を創出します。



共生政策室

理事・室長
大石 怜史

当たり前の基準を変えよう

地域や文化の違う4つの地区委員会と共生政策委員会からなる共生政策室では、それぞれの委員会が相互に連携し運動が最大化するように運営して参りました。特徴としては共生政策推進運動を地区委員会と合同開催したことです。今までにない運動の作り方を実践することで、一人ひとりの「当たり前の基準」が少しでも変化していくように取り組んで参りました。



千代田区委員会

委員長
岡崎 智彦

Growing Through Challenges!

日本JCと東京JCの両トップを輩出することとなった2025年度、千代田区委員会は「Growing Through Challenges!」を胸に活動しています。「少年少女相撲大会」や中高生に向けた「模擬選挙授業」、そしてメイン事業である地区事業「ベジフルまつり」を通じて、次世代を担う若者たちの学びの機会を創出しました。夢と希望あふれる未来を切り拓く運動を今後も進めてまいります。

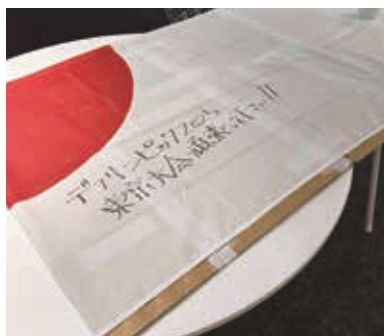


文京区委員会

委員長
吉原 瞬

未来を企画する委員会

2025年度文京区委員会は、「未来を企画する委員会」をスローガンに活動しました。様々な分野で専門性をもち活躍するメンバーが、相互理解を深め、多様な視点を取り入れることで、新たな発想や共感を生む活動を展開しました。地区事業では、地域住民が愛着と誇りを育むまちづくりを推進する事業を行いました。引き続き私たちの活動にご期待ください!



室・委員会報告 政策推進グループ

副理事長 外川 隆司

共生政策委員会

委員長
渡邊 蓮

共生を今日SAY! デフリンピックを好機にワクワクする未来へ!

『共生を今日SAY!ワークショップ』では自分を知るための特性診断およびカードゲームを通じ『障がい』『自己特性』を学ぶ2つのワークショップにて参加者に共生社会の体験を実施。別企画では児童向けデフサッカー体験、親子向け手話体験を4地区事業会場で開催、老若男女を問わず多くの一般市民に障がいについて当事者意識を醸成する機会提供を行いました。



杉並区委員会

委員長
中野 純希

Restart with the One

設立51年目の新たな一歩を踏み出した我々は、本年度全国大会にて準グランプリ受賞という素晴らしいリスタートを切ることができました。地区事業が評価された喜びもありますが、本年度も継続できたこと、そして、継承へと繋がる一歩となったことが大きな自信になりました。これからも仲間とともに、地域とともに未来へと歩みを進めていきます!



世田谷区委員会

委員長
閑野 一樹

団結から生まれる強さで未来を変える

世田谷の未来を創るのは“人”の力。地域を愛し、仕事も年齢も立場も異なる多彩なメンバーが集う場所——それが世田谷区委員会です。ここでは、社会課題への挑戦を通じて、仲間とともに学び、行動し、成長することができます。真剣に語り合い、一人ひとりの想いが世田谷の未来を動かします。私たちは、そんな“人のつながり”から生まれる力を信じています。



室・委員会報告 政策推進グループ

副理事長 外川 隆司

福祉政策室

理事・室長
島村 望

すべての人が笑顔で子育てできる未来を。

福祉政策室は中央区、品川区、豊島区、渋谷区、練馬区というエリアや会員数も異なる5つの委員会と福祉政策委員会で構成されています。地区オリジナルの文化やオペレーションを共有でき、良い相互関係を実現できました。お子様のいるメンバーも多く産官学民での連携のもと、推進運動、2月例会、7月例会、各地区の地区事業を成功させました。



中央区委員会

委員長
江田 輝一

共鳴～熱く輝く～

中央区委員会では、地域に根付き、家族の絆を深める事業を展開しました。7月例会では男性の育児参画推進事業「ファミリオンハーモニープラザ」を築地本願寺で開催し、1,200名以上を動員しました。また、浜町スポーツセンターで「わんぱく相撲中央区大会」を実施し、「ゆかたで銀ブラ」など地域イベントにも積極的に参加し、地域とのつながりを深めました。



品川区委員会

委員長
出羽 桃子

しながわらしくを、あたらしく

創立51年を迎えた今年、品川区委員会は「防災を軸にした福祉社会の実現」を目指し、行政や企業、学校、地域と協働して活動してきました。しながわシティランやわんぱく相撲大会などにも積極的に参加し、地域の絆を深めた一年。これからも共感される運動を広げていきます。



豊島区委員会

委員長
恩田 英明

誇り

豊島区委員会は、近年稀に見る勢いでメンバー数が増加し、勢いを持っている委員会です。地区事業として開催した地域貢献メッセージでは、地域の為に活動する団体を広くPRし賛同を得て貰うお祭りを開催。3,000人を超える来場者様にお越しいただきました。また、青空の下、中池袋公園で開催したわんぱく相撲は、子どもたちの笑顔があふれる大会となりました。



室・委員会報告 政策推進グループ

副理事長 外川 隆司

福祉政策委員会

委員長
宇賀神 達也

感謝の想いが社会を変える！ ～「ありがとう」から始まる子育て応援プロジェクト～

福祉政策委員会では、「ありがとうプロジェクト」を推進して参りました。感謝の想いを伝える重要性を訴求するムービーを公開し、感謝の想いを伝えるツール「ありがとうマーク」を作成しました。子育て中に、誰かに助けてもらったときの温かさ。その気持ちを伝えることが、より温かく優しい社会へと変えていく。福祉政策委員会は、その一翼を担っていきます。



渋谷区委員会

委員長
武田 昌也

渋谷から Rise and Challenge

2025年度は渋谷区委員会にとって次の50年に向けての門出の年でした。今までの伝統を守り、変えたうえで、新たに創り出すことでリーダーが生まれます。多種多様な個性を持つメンバーが多い渋谷区委員会だからこそ、社会課題に正面から挑戦する意義があります。渋谷区委員会は困難を乗り越えて、共に成長する。そんな委員会です！



練馬区委員会

委員長
小林 頌太郎

～未来に紡ぐ新たな練馬へ～

50周年を迎えた練馬区委員会は、より良い練馬を創るという熱い想いを未来へ紡ぎ、様々な活動を展開。若き力で持続可能なまちづくりに挑戦しています。



経済政策室

理事・室長
岸良 圭祐

新付加価値型経済の創造

経済政策室は、経済政策・墨田区・江戸川区・荒川区・足立区・江東地区の6つの委員会で構成。少数精鋭で中小企業の生成AI活用と人手不足解消を軸に各地区で事業を展開。5月には例会、推進運動も展開し地域課題の解決と生産性向上を図り、「新付加価値型経済」を東京から全国へ波及させました。引き続き少子高齢社会に最適化したモデル確立を目指します。

墨田区委員会

委員長
小野 和斗

承継と発展、そしてさらなる成長へ

2025年度墨田区委員会は、地区事業である模擬裁判員体験事業をはじめ、わんぱく相撲墨田区大会、東京都議選公開討論会、勝海舟フォーラム、防災遠足と、数多くの事業に取り組んでまいりました。今後も伝統を引き継ぎながら、地域の関係団体様と連携し、「明るい豊かな社会の実現」に貢献してまいります。

荒川区委員会

委員長
飯田 武彦

一致団結

「来年もやりたいです!」小学生からそんな感想を聞いた荒川区の地区事業は【経済学習×生成AI】でした。小学生が荒川区にあるお店のポップをAIを駆使して作成するという取り組みで、地域で一致団結しました!時代を担うネクストリーダーズを楽しく巻き込みながら、明るい豊かな社会の実現に向かいます!



室・委員会報告 政策推進グループ

副理事長 外川 隆司

経済政策委員会

委員長
佐伯 勇太

未来を創る中小企業 ～新付加価値型経済への挑戦～

中小企業の成長と社会課題の解決を両立する「新付加価値型経済」の実現を目指し、生成AI活用セミナーを3日間開催。知識の提供だけでなく、実際に中小企業への生成AI導入支援も実施しました。5月例会では、生成AI活用実践術や生成AIで作成したAI理事長とリアル理事長の対談も実現するなど生成AI導入を後押しした例会を開催致しました。



足立区委員会

委員長
石井 丈士

人と人を繋げ、地域を盛りあげる

今年度は「人と人を繋げ、地域を盛りあげる」をスローガンに一年間活動して参りました。地区事業で開催した「サードプレイスラリー」では居場所についての理解を広げるべく、AI音声による講義や、理想のサードプレイスを画像生成AIで作成するクイズ等を体験してもらいました。今後も子供たちが安心して成長できる地域づくりに向け邁進いたします。



江戸川区委員会

委員長
高橋 昭和

夢と希望を持てる、 持続可能な地区委員会の土台を作り直す

2025年は、区長をお招きして政策理解のための勉強会を開催しました。2024年は事業を実施しましたが、2025年は来年度の事業構築に向け知識を深める一年となりました。この経験を生かし、2026年はより良い事業づくりに努めてまいります。



室・委員会報告 ブランディンググループ

副理事長 小林 達也

教育政策室

理事・室長
馬場 宏平

Youth Chamber～新しい変革の起点～

教育政策室は、「課題創造型人財の創出」を掲げ、3月例会「Youth Chamber～新しい変革の起点～」を開催しました。教育政策推進運動「Youth Chamber (YC)」の紹介・基調講演に加え、人気番組「令和の虎」に見立てた「JCの虎」を実施しました。本企画では、番組出演者である“本物の虎”を前に、学生がプレゼンし、課題解決力と社会との接続力を育む基盤づくりに努めました。



台東区委員会

委員長
小島 崇博

守破離～伝統の昇華～

台東区委員会は、江戸下町の文化に根差した浅草・上野を中心に、地域の伝統を守りながら未来の台東区・東京・日本の発展に貢献することを目的に活動しました。台東区出身者をはじめ多様なメンバーが集い、自由な発想から生まれたアイデアを形にするため知恵を絞り、協働のもとで事業を展開しました。その結果、地域の前進に寄与する多くの成果を生み出しました。



目黒区委員会

委員長
木村 聡宏

挑戦が未来を育てる、笑顔あふれる目黒へ

目黒区委員会は、緑豊かで人の温かさが息づく目黒の地で、地域と共に歩み、子どもたちの成長を支援することを目的に活動しました。本年度は、小中学生向け体験イベント「目黒プロアスリート&プロレス・エンパワーメント」を開催し、スポーツを通じて「あきらめない力」と「挑戦する勇氣」を伝えました。多くの笑顔が生まれ、地域に活気と一体感をもたらしました。



中野区委員会

委員長
立石 理郎

みんなの笑顔で大気圏突破！

中野区委員会は本年、「みんなの笑顔で大気圏突破！」をスローガンに掲げ、地域の課題解決と人財育成を目的として活動しました。主催事業として「中野宇宙博」を開催し、地域住民や子どもたちが宇宙をテーマに学び・体験する機会を提供しました。中野から東京、世界、そして宇宙へと視野を広げる取り組みを通じて、夢を描ける持続可能な社会の実現に貢献しました。



室・委員会報告 ブランディンググループ

副理事長 小林 達也

教育政策委員会

委員長
笠間 啓介

育てる、つなぐ、動かす。次代の社会実践

教育政策委員会は、学生による課題解決型プロジェクトを推進する団体「Youth Chamber」を立ち上げました。企業・行政・地域団体と連携できる体制を構築し、ミーティングを重ねながら、東京JCの地区事業にも積極的に参画しました。実践を通じて主体性を養い、学生が課題創造型人材として成長する機会を創出し、次年度以降も社会で活躍する団体の基盤づくりに努めました。



葛飾区委員会

委員長
斜木 政幸

跳び出せ未来、挑めよ葛飾！

葛飾区委員会は、「挑戦」を活動の軸に据え、地域との協働を通じて次世代リーダーの育成とまちの活性化を目的に活動しました。本年度は、学生が地域課題をビジネスの視点から捉える思考を養う地区事業「マネーの寅さん」や区長選公開討論会を実施しました。挑戦と協働を重ねる中で、私たちとともにあなたが考えている葛飾の未来を描いてみませんか。



政治行政政策特別委員会

理事・委員長
島崎 亮

深めよう情報リテラシー！ 主権者意識を醸成しよう！

インターネットの発達により膨大な情報が氾濫し、真偽の判断が難しくなる現代において、私たちは有権者が多面的かつ多角的に政治や社会課題を考える力を養うため、勉強会や啓発動画を作成し、参議院選挙に向けた公開討論会の開催を通じて情報リテラシーの向上、主権者意識の醸成に向けた発表を実施しました。



室・委員会報告 ブランディンググループ

副理事長 小林 達也

東京JCブランド向上室

理事・室長
中田 雄斗

夢と希望が共感を生む為に

東京JCは数多くの運動を行っております。当室では、それらの情報発信と東京JCの花形事業であるわんぱく相撲全国大会の運営を統括しています。本年度の新しい試みとして、東京JC内部から運動の共感を増やすため、対内向け情報共有の仕組みづくりを行いました。特に例会開催日が迫った政策室と合同で室会議を開催し、連携の強化を図りました。



東京JC運動発信委員会

委員長
伊藤 彬史

広報でつなぐ、人と人との絆

2025年度は「運動発信」を名に冠し、各委員会とのSNS連携や公式LINE導入で情報共有を強化。結果、メンバーの9割が発信に賛同し、運動の機運が組織内に高まりました。対外的にもHP問合せが昨年比109%となる等、市民の皆様と「共感」を繋ぐ確かな土台を築くことができました。



わんぱく相撲委員会

委員長
和久田 典宏

夢をこの手に、わんぱくピース!

私たちは、子どもたちが夢の素晴らしさを学び、心に残る舞台をつくりたいという想いで活動してきました。夢の手形やインタビュー動画といった企画を通じて、未来を描くきっかけを提供し、大会に関わるすべての人が“夢”を見つめ直す機会となりました。この想いは、2026年度へ希望のバトンとして受け継がれました。



室・委員会報告 組織運営グループ

専務理事 白倉 孝純

総務室 規則審査特別委員会

理事・室長
小金 隆二

自己成長のための、持続して発展する組織運営体制の構築

総務室・規則審査特別委員会は、東京JCの全運動の基礎となる会議・組織運営を効率的かつ効果的に行い、多くの社会的意義のある運動・事業、レジリエンス能力の高い青年経済人を輩出する礎として活動を行います。



総務委員会

委員長
増田 拓真

安心できる会の運営!!

総務委員会では、①40歳を迎えたメンバーの卒業式を含む12月例会を主管しています。②また、各地区委員会から提出された入会審査書類の事前チェックを行い、入会審査の開催・運営を行っております。③毎月開催される理事会や総会などにおいては、会場の設営や受付の対応、ドアクロージングやマイクランナーなどを行い、メンバー全員が安心して参加できる会の運営に努めました。



財務室 財務審査特別委員会

理事・室長
熊倉 正彦

信頼される審査、支える委員会

今年はスタッフ全員で切磋琢磨し、デジタル活用と厳格な審査・可視化で透明性と効率を高め、予算の適正化と持続可能な財務基盤を整えました。各委員会と密に連携し、チェックリスト共有と資料平易化で予備審査を高度化し、運動面の成果創出と計画遂行を後押ししました。



財務運営委員会

委員長
石原 健志

BEYOND

今年は東京JCの強固な財務基盤確立に向け、大きく二つの活動を推進しております。一つは、年会費、賛助金に続く第三の収益の柱を育てるべく、収益事業の検討と実行に着手したことです。また、賛助金活動も強化し、収入の増加を図っています。財務運営委員会は東京JCの顔として、数多くの外部企業との交流の輪を広げています。



JCI・日本JC諸会議・大会報告

日本JC諸会議

京都會議 2025年1月23日～26日

毎年1月に行われる「京都會議」。全国各地の会員会議所メンバーが一堂に集います。本年度は東京青年会議所から輩出している“外口会頭”を筆頭に作り上げる1年間。“希望あふれる理想を描き 変えたのだと誇れる未来へ”“Raise Your Flag ～理想への挑戦～”「我々が変えたのだと誇れる未来へ向けて挑戦する」決起の場となりました。その運動の始まりと決意を東京JCメンバー一同で見届けました。



第54回東京ブロック大会国分寺大会 2025年6月8日

大会名称「国分寺タイムトラベル～過去と未来が交差する旅へ～」。大会テーマ「“歴史と未来の新天地へ” いざ出陣!!」が開催されました。東京都を拠点とする24LOMのメンバーが集まり、都会の美しい緑の中、各種ステージイベント・ブース体験や大会式典などが催されました。



第73回関東地区大会上州きりゅう大会 2025年7月5日

第73回関東地区大会上州きりゅう大会。「突破 ～誇りを織り成し、明日をつくる～」のスローガンのもと、地域間連携と意識変革による「地域の枠を超えた共助社会」の構築を目指し開催されました。



サマーコンファレンス2025 2025年7月19日-20日

日本青年会議所の最大の運動発信の場となる「サマーコンファレンス」。各会議や委員会がフォーラムやセミナーを開催し、本年度全国各地で活動してきた運動を参加される皆様へ発信し、伝え、そして今後もその運動が飛躍し次世代へ繋げていくために毎年この時期に開催されております。多様な価値観や思いが交差する、非常に濃密な時間を共有した2日間となりました。



第74回全国大会 佐賀大会 2025年10月10日～12日

「これまでの挑戦と成果を集大成としながらも、そこで満足することなく、さらにその先を目指していこう。」と議長である福井竜太郎君も思いを込めた開催テーマ『Plus Ultra～理想の先へ～』。初開催である佐賀大会で得た絆と経験は、ここで終わるものではなく、これからの運動の大きな力となり、“理想の先へ”と歩みを進めていく大会となりました。



JCI 諸会議

ASPACウランバートル大会（アジア太平洋エリア会議） 2025年6月12日～15日

2025年のASPACは、「Let's Create an Amazing ASPAC Together」のテーマのもと、モンゴル・ウランバートルの地にて開催されました。本年はJCI会頭として下山田敬介君を輩出していることもあり、多くの東京JCメンバーが参加しました。ASPACアワードでは、千代田区委員会の「ベジフルまつり」がグランプリに輝き、その他3部門においてノミネートしました。公益社団法人東京青年会議所の存在感を世界に示す機会となりました。



JCI世界会議チュニス大会 2025年11月4日～8日

2025年のJCI世界会議は、チュニジア共和国の首都チュニスで開催され、「Leading with Innovation」のテーマのもと、各国の青年会議所メンバーが一堂に会し交流を深めました。総会において、JCIの新しいロゴが採択されました。世界会議アワードでは、中央区委員会の「7月例会」がグランプリを受賞、港区委員会の「ユニコーンプロジェクト」がノミネートを果たしました。





2025 AWARD

受賞一覧



ASPAC ウランバトル大会 優秀LOM持続可能な開発目標プロジェクト賞

千代田区委員会 地区事業
～千代田から日本の農業を変える～



第74回全国大会 佐賀大会 AWARDS JAPAN 準グランプリ 最優秀LOM国際協力プログラム賞

杉並区委員会 地区事業
～学び×祭り Education Festa～



さよならブロック2025 東京ブロックアワード 国際交流賞

国際政策委員会 推進事業
Unity for Action:
Smokey Mountain LC Project
～スモークマウンテン学習センター
支援プロジェクト～



世界大会チュニス大会 グランプリ 最優秀LOM個人開発プログラム賞

中央区委員会
7月例会



ありがとう関東地区 カンチクアワード2025 カンチク優秀事業賞 地域資源再発見部門

大田区委員会 地区事業
蒲田夜市～YUMMY市～



優秀事業賞

国際政策委員会（国際政策室所属）

推進事業「Unity for Action

～スモーキーマウンテン・ラーニングセンタープロジェクト～」



本事業は、日本人のうち特にメインターゲットである20～30代の次世代経営者層が海外課題を「自分ごと」として捉え、課題解決に向けた具体的な行動につなげるきっかけを提供することを目的として実施いたしました。2025年度は「フィリピンの子どもたちに質の高い教育を」をテーマに掲げ、国内での寄付促進と、JCIマニラとの協働による現地支援の両軸で、一年間にわたり運動を展開しました。

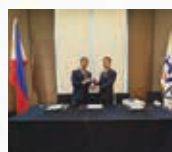
通年企画としては、寄付プラットフォーム「Unity for Action」を立ち上げ、企業とのパートナーシップによる間接寄付や、オンライン寄付ツール・

コングラントを活用した直接寄付を推進しました。また、例会や各種大会・事業でのPR活動を重ねることで、約130万円の寄付を集めることができました。

さらに、メンバー26名がフィリピン・マニラ視察に参加し、寄付によって完成した学習施設を訪問しました。現地支援を行うJCIマニラや関連団体からお話を伺い、厳しい教育環境や貧富の格差を肌で理解し、国際協力の必要性を強く実感する貴重な学びの機会となりました。国内では、小中学生を含む多くの一般参加者が海外課題に関心を寄せ、募金を通じて協力してくださるなど、世代を超えて事業への共感や意識変革が広がりました。海外では、PCや教材・図書を備えた学習施設「スモーキーマウンテン・ラーニングセンター」が整備され、進学率が50%未満だった地域に継続的な教育機会が生まれ、今後の地域発展につながる大きなインパクトを生み出しています。



海外との連絡・調整を含めて課題も多くありましたが、単なる自己満足ではなく、確実に現地の子どもたちの未来に役立つ支援を届けられたことで、大きな達成感を得ることができました。さらに、国内外の多くの人々を巻き込みながら協働の基盤を築けたことは、次年度以降の国際協力活動にもつながる大きな成果であると強く感じております。



理事 満口 遼太
室幹事 鳥井 大吾
委員長 安井裕太郎

副委員長 森岡 誠
副委員長 森 隼人
副委員長 杉山 真理

総括幹事 久保 広晃
運営幹事 古賀 大幹
会計広報幹事 漆畑 宝

ノミネート事業一覧

教育政策委員会
推進事業「YouthChamberプロジェクト」

共生政策委員会
推進事業「共生を今日SAY!!」

優秀例会賞

中央区委員会

7月例会「ファミリオンハーモニープラザ ～パパの笑顔で、家族も笑顔に♪～」

7月27日（日）築地本願寺にて「ファミリオンハーモニープラザ～パパの笑顔で、家族も笑顔に♪～」を開催しました。本事業は、社会全体で父親が育児におけるはじめの一步を踏み出すきっかけをつくり、家族の笑顔を広げることを目的とした親子参加型フェスティバルです。当日は、助産師HISAKO氏&MARK氏夫妻、ファザーリング・ジャパン徳倉康之氏、内閣府副大臣辻清人氏、芸人おばたのお兄さん氏など、産学官民を代



表する登壇者が集い、会場は笑いと共感に包まれました。父親の育児参加や夫婦のパートナーシップをテーマにしたトークセッションでは、多くの来場者がうなずく姿も見られました。

屋内では、家族の感謝を言葉にする「未来便ポスト」や、親子で楽しむ「うちわづくり」「女兒用髪型講座」など、心温まるブースが展開。屋外では、関東やまと太鼓の演奏やシャボン玉パフォーマンス、プールなどが夏空を彩り、笑顔があふれました。

参加者からは「家族の会話が増えた」「パパとしての自覚が芽生えた」との声が寄せられ、育児への前向きな意識変化が生まれています。家庭の中の小さな一歩が、社会全体の変化につながる——私たちはこれからも「誰もが子育てを楽しめる社会」の実現を目指して歩み続けます。



委員長 江田 輝一
実行委員長 丸島 大弥

副委員長 田中 孝介
総括幹事 光造 健太

副委員長 佐々木 良
会計広報幹事 関 陸矢

ノミネート例会一覧

経済政策委員会

5月例会「AI for The Future
～希望がつなぐ未来創出プロジェクト～」

国際政策委員会

4月例会「BE UNITED! 持続可能な支援
とSDGsビジネス～海外課題は自分ごと～」

2025 JCI TOKYO AWARD

東京 JC 最優秀賞 国際政策室

東京 JC 優秀賞

地区委員会 北区委員会
室・特別会議・委員会 渉外連携室
会務系委員会 財務運営委員会
政策系委員会 共生政策委員会

優秀事業賞

国際政策室 国際政策推進運動

優秀例会賞

7月例会
「ファミリオンハーモニープラザ〜パパの笑顔で、家族も笑顔に〜」

最優秀会員拡大賞

拡大数部門 大田区委員会
拡大率部門 江戸川区委員会

優秀広報賞

千代田区委員会

東京 JC 共感賞

港区委員会

優秀活動賞

港区委員会 須藤いづみ
道場絵梨佳
我妻 遼祐
新宿区委員会 中曾 清之
貝塚 弘光
大田区委員会 中山 大輔
岩井 征司
北区委員会 岩下 剛士
平田 理沙
千代田区委員会 須賀あゆ美
徳勝 丈
杉並区委員会 多田 健人
世田谷区委員会 本田裕太郎
安西 健壘
中央区委員会 田中 孝介
中島 雅人
佐々木 良
品川区委員会 森 大樹
林 祥太
渋谷区委員会 伊奈亜有美
河原 大悟
練馬区委員会 田端 良啓
墨田区委員会 山田 祥平
台東区委員会 金子 晃大
拡大拡充委員会 桑野 裕雄
国際フレンドシップ委員会 渡部 葵
国際政策委員会 森 隼人
経済政策委員会 中西 啓介

教育政策委員会 岩下 弥樹
玉置 大悟
財務運営委員会 白木 大智
中長期ビジョン策定 泉 乃梨子
特別会議
例会推進特別委員会 吉原 祐介
JCI・日本JC連携特別委員会 四之宮大顕
財務審査特別委員会 熊倉 治郎

最優秀新人賞

国際政策委員会 古賀 大幹

優秀新人賞

新宿区委員会 小山田静香
島谷 裕人
北区委員会 金 智仁
藪崎 陵史
板橋区委員会 国本 大成
千代田区委員会 神宮 宏和
小林 大貴
杉並区委員会 戸兵雄一朗
世田谷区委員会 森 智昭
堀 亜祐
中央区委員会 関 陸矢
三森 健司
石上 貴之
品川区委員会 切敷 裕大
渋谷区委員会 光山 貴之
大原 千晶
台東区委員会 小泉 真隆
拡大拡充委員会 渡邊 勇太
国際フレンドシップ委員会 楠原 章央
渉外委員会 中島 瑞貴
国際政策委員会 古賀 大幹
財務審査特別委員会 榑谷 拓也

優秀出向賞

全国大会運営会議 本田 智也
JCI 関係委員会 出川 貴史
水山弘太郎
渉外委員会 北川 美徳
多様化企業促進委員会 田端 良啓
国際競争力向上委員会 鳥井 大吾
後藤 優美
防災意識向上委員会 船造 俊之
諏訪 俊之
伊奈亜有美
財務特別委員会 長田 祐美
渉外開発委員会 田端 良啓
岩下 弥樹
堀 亜祐
LOM 支援確立委員会 中島晃太郎
ブランディング確立委員会 中西 啓介

国際交流創出会議 多田 健人
須藤いづみ
アカデミー研修委員会 金 智仁

グランドスラム賞

石川 暁棋
角 俊太郎
若林真喜子
岩崎 洋太
安藤 博昭
後藤 優美
水山弘太郎

ASPAC・世界会議参加賞

梶 明日香
小松 和也
安井裕太郎
橋本 惇巨
小勝 雄太
伊藤 彬史
北川 美徳
岩下 弥樹
楠原 章央
長田 祐美
西川 恭史
出川 貴史
新井 美奈
後藤 優美
多田 健人
渡部 葵

国内会議皆出席賞

安井裕太郎
和久田典宏
長田 祐美
田端 良啓
中桐良太郎

MVP 特別賞

財務審査特別委員会 長田 祐美

功労賞

角 俊太郎
臼倉 孝純
若林真喜子
川副 隼平

特別功労賞

石川 暁棋
外口 真大
下山田敬介



ISHIDA
BEST

どうだい？

resorttrust



丸良興業有限公司
MARUYOSHI

e.まち未来製作所



神田岩本町百貨店

制作 公益社団法人東京青年会議所

東京JCブランド向上室 伊藤 彬史 / 井上 嵩也 / 島田 有希 / 青木 伶央奈 / 三崎 龍人
東京JC運動発信委員会 長島 史明 / 富山 あゆみ / 安達 未悠

ご覧いただきありがとうございます。こちらの冊子は一人ひとりのメンバーの様子から東京青年会議所の活動が想像して貰えるような構成で作成しました。夢と希望をもって活動するきっかけとなれば幸いです。



Junior Chamber International Tokyo
公益社団法人東京青年会議所

意志あるところに道は開ける
自分たちが変えたと誇れる
ワクワク・ドキドキする未来を創りましょう